

科目・コース（ユニット）名：疫学（疫学講座）【医学3】
英語名称：Lecture in Basic Medical Sciences (Epidemiology)

【担当責任者】 大平哲也、江口依里、佐藤志帆

【連絡先】 E-mail: epi@fmu.ac.jp (疫学講座メールアドレス)

Tel: 024-5471343

【開講年次】 3年, 【学期】前期, 【必修／選択】必修,

【授業形態】 講義

【概要】

疫学とは、目の前で起きている健康事象が、どのような状況であり、なぜ発生し、どうすれば解決できるかを、集団を対象として知る学問である。疫学的な証明がなければ、疾病と要因の因果関係、検査や治療の妥当性は推定できないため、全ての臨床・予防医学における基礎的な学問と言える。例えば、災害時の避難が体重に及ぼす影響については、ある集団では食糧不足による体重減少が問題となる可能性がある一方で、別な集団では身体活動量の低下による体重増加が問題となる可能性もある。したがって、地域・職域で予防・医療活動を行うためには、その集団全体を分析し、その集団に合わせた対策が必要である。本講義では、地域・職域・医療現場において役に立つための疫学的な知識及び疫学研究手法を学ぶ。また、実際の疫学研究を数多く紹介することによって、疫学の基礎を習得することを目標とする。

【学習目標】

1. 疫学用語を理解し説明できる。
2. 疫学的な研究手法を理解し、論文を批判的に吟味できる。
3. 地域・職域・医療現場における疫学研究を立案できる。

【教科書】 はじめて学ぶやさしい疫学（日本疫学会監修、南江堂）

【参考書】 基礎から学ぶ楽しい疫学（中村好一著、医学書院）

NEW 予防医学・公衆衛生学 改訂第3版（岸玲子他編集、南江堂）

分子疫学入門～精密医療の基礎知識～（栗山進一著、東北大学出版会）

公衆衛生がみえる（医療情報科学研究所編、メディックメディア）

疫学の事典（日本疫学会監修、朝倉書店）

10000人を60年追跡調査してわかった健康な人の小さな習慣（大平哲也著、ダイヤモンド社）

【成績評価方法】 出席、授業態度、授業中の課題及び筆記試験により評価する。配分：出席、授業態度、授業中の課題40%、試験60%。ただし、「医学部履修規程」第7条により、単位の授与は「講義及び演習においては、原則として3分の2以上出席した者」とする。

「社会医学」の最終成績については「衛生学・予防医学」「公衆衛生学」「疫学」「法医学」「衛生学・公衆衛生学・疫学実習」を個別に判定し、すべての判定基準を満たした場合に合格とする。不合格の場合、次年度における再履修の範囲は「社会医学」を構成する全ての開

科目・コース（ユニット）名：疫学（疫学講座）【医学 3】
英語名称：Lecture in Basic Medical Sciences (Epidemiology)

設科目とする。

【学習上の注意事項】

＜授業の進め方＞

講義は疫学の基礎的知識を学ぶところから始めて、疫学研究の種類、長所、短所をそれぞれ学ぶ。また、その都度これまでの実際の疫学研究を紹介し、学生の医学知識を高めていく。また、講義はできる限り参加型で行うため、随時討論及び発言の機会を設ける。

＜その他の連絡事項＞

初回の授業において基本的な疫学用語を学びます。したがって、初回の授業を欠席するとその後の授業を理解することが難しいため、何らかの都合で初回授業を欠席した者は必ず講義資料を手に入れて復習しておくこと。

【垂直的統合授業の実施内容】

疫学の授業においては、生活習慣病、循環器疾患、がん等の臨床的疾患についての知識を再確認するとともに、その予防法を講義に組み込む。具体的には、心筋梗塞、脳卒中、がん等の疾患のリスクファクターについて、それぞれの疫学手法を用いてどのように検討するのかを学習し、得られた結果を予防にどのように活かすかを学ぶ。

【水平的統合授業の実施内容】

疫学の授業においては疾病の危険因子を明らかにする上で、生理学、生化学、病理学等の知識を再確認するとともに、そのメカニズムを講義に組み込む。具体的には、わが国の脳卒中、心筋梗塞の病理学的特徴、及び生理学的、生化学的リスクファクターについての理解を深める。

【本学独自の、あるいは先端的な研究要素のある授業の実施内容】

各論においては、疫学講座で先駆的に取り組んでいる「地域で 60 年以上継続して実施してきた循環器疾患をはじめとする生活習慣病の疫学研究」について授業に組み込む。

【その他（メッセージ等）】 初回の講義において授業内容、注意事項、評価方法等についてオリエンテーションを行うので授業開始時間に間に合うように出席すること。また、初回の講義をやむを得ず欠席した場合はオリエンテーションの内容を出席者に必ず確認すること。授業中の離席は原則的に認めないので、トイレ等の用事は必ず授業の前に済ませておくこと。

科目・コース（ユニット）名：疫学（疫学講座）【医学3】
英語名称：Lecture in Basic Medical Sciences (Epidemiology)

【授業スケジュール／担当教員等】

回数	年/月/日	曜日	時 限	内 容	担当教員名
1	2026/4/30	木	6	（講）疫学総論（1）疫学概念、疫学の三要因、曝露と疾病、疫学指標、有病率、罹患率、相対危険度、寄与危険度等の用語を理解する。	大平 哲也
2	2026/5/7	木	6	（講）疫学総論（2）記述疫学：観察研究、生態学的研究の手法を理解し、予防医学、臨床医学にどのように応用されているのかを学ぶ	大平 哲也
3	2026/5/14	木	6	講）疫学総論（3）分析疫学及び疫学指標の算出：横断研究、前向き研究の手法を理解し、実際の前向き研究の結果を用いて、相対危険度、寄与危険度・集団寄与危険割合の算出を行う。	大平 哲也
4	2026/5/21	木	6	（講）疫学各論（1）非感染性疾患（NCD）の疫学：わが国の死因及び介護の要因となる疾患の疫学、特に循環器疾患をはじめとする生活習慣病についての我が国の推移、危険因子等について学ぶ	磯 博康 （特別講義）
5	2026/5/28	木	6	（講）疫学総論（4）分析疫学及び実験疫学：症例対照研究、介入研究（臨床試験、ランダム化比較試験）の手法を理解し、予防医学、臨床医学にどのように応用されているのかを学ぶ。実際のデータを用いてオッズ比の算出を行う。	大平 哲也
6	2026/6/4	木	6	（講）疫学総論（5）偏りと交絡、因果関係は疫学研究・臨床研究を理解する上で最も重要なキーワードである。偏りと交絡の意味、実際の研究における例を学ぶ。	大平 哲也

科目・コース（ユニット）名：疫学（疫学講座）【医学3】
英語名称：Lecture in Basic Medical Sciences (Epidemiology)

7	2026/6/11	木	6	（講）疫学総論（6）スクリーニング、感度、特異度、ROC 曲線、検査前確率、陽性的中度、陰性的中度、検査後確率、陽性尤度比、陰性尤度比等の用語を理解するとともに、利用のための根拠及び実際のデータを用いた計算方法を学ぶ	佐藤 志帆
8	2026/6/18	木	6	（講）疫学各論（2）疫学研究の進め方①：リサーチクエスチョン、研究仮説の立て方、記述疫学、分析疫学、介入研究への過程、結果の社会への還元を理解し、疫学研究、臨床研究がどのように進められるかをストレスと疾患との関連をテーマとして学ぶ	大平 哲也
9	2026/6/25	木	6	（講）疫学総論（7）疫学における EBM の構築：系統的レビュー、メタ分析、エビデンスレベルの概要を理解し、診療ガイドライン等の推奨レベルを理解する	佐藤 志帆
10	2026/7/2	木	5	（講）疫学各論（3）疫学研究の進め方②：リサーチクエスチョン、研究仮説の立て方、記述疫学、分析疫学、介入研究への過程、結果の社会への還元を理解し、疫学研究、臨床研究がどのように進められるかを笑いと健康をテーマとして学ぶ	大平 哲也

尚、講義の順番は講師の都合により入れ替わる場合がある。

担当教員一覧

教員氏名	職	所 属	備 考
大平哲也	教授	福島県立医科大学医学部疫学講座	
江口依里	准教授	福島県立医科大学医学部疫学講座	
佐藤志帆	学内講師	福島県立医科大学医学部疫学講座	